

乙女高原が好き！ 1401号

2013年度総会で2014年度計画が決まりました！

3月16日(日)1時半から準備をし、午後2時から山梨市牧丘総合会館の大ホールで2013年度乙女高原ファンクラブ総会ならびに座談会を行いました。総合司会は三枝さん。出席総数は（途中からの参加の方も含めて）出席者13名、委任状108名、計121名で、普通会员228名の過半数114名以上でした。総会は成立です。

代表世話人・宮原さんのあいさつは、望月新市長さんがいらっしやってから、していただきました。新市長さんにファンクラブの熱意ある活動をしっかりお伝えできたと思います。

簡単に決算報告をすると（金額は概ねの額）・・・

【収入】総額は230万円。そのうち前年度繰越金が59万円、「セブンイレブン記念財団」からの助成金56万円、基金からの繰入40万円（これは収入とはいえませんが）、その他の収入（例年の収入）が75万円です。

【支出】『乙女高原大百科』をつくるための経費が「セブンイレブン記念財団」分56万円、ファンクラブ分が54万円、その他支出（例年の支出）86万円です。次年度への繰越金は34万円です。

その他として「ファンクラブが背負う2014年度の大きな課題2つ」として、グリーンロッジの活用と巨大シカ柵の設置を進めることについて承認していただきました。また、乙女高原ファンクラブも設立後13年が経過し、会員もだいぶ高齢化が進んだこともあって、総会の出席ハガキ（委任状）の返信率がだいぶ下がってきてしまいました。このままでは総会が流会になってしまう恐れもあることから、総会の成立条件をなくすことになりました。

【議事】議長 宮原

- ①2013年度活動報告(植原)
- ②2013年度収支決算報告(内藤)
- ③会計監査報告(竹居)
- ④2014年度活動計画案(植原)
- ⑤2014年度収支予算案(植原)
- ⑥その他(植原)

総会に参加し、あいさつする望月新市長



第12条（総会）

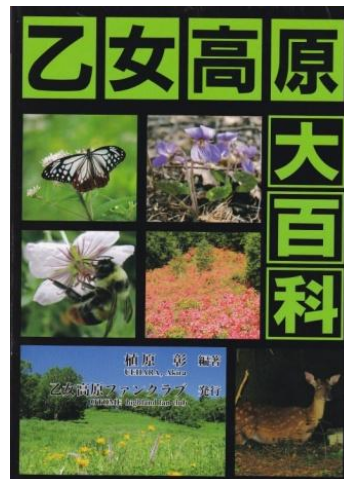
- 旧：総会は会の組織や運営を決める最高議決機関である。代表世話人が招集し、普通会员の半数以上の出席をもって成立する。議案は出席人数の過半数の賛成をもって可決される。
- 新：総会は会の組織や運営を決める最高議決機関である。代表世話人が招集し、議案は出席人数の過半数の賛成をもって可決される。

世話人への中途立候補者の有無をお聞きしましたが、ありませんでした。以上で議事は終了し、4月の世話人会の開催日と乙女高原フォーラム講師を麻布大学教授の高槻成紀さんをお願いしていくことを決め、総会は無事終了しました。

※活動報告2013と活動計画2014については同封の資料をご参照ください。

新刊『乙女高原大百科』

- ・A5判602頁・乙女高原メールマガジン11年間268号の中身を編集
 - ・1冊2,000円。送料は1～2冊なら360円。3冊以上の場合、ご相談ください。
 - ・送付希望の方は郵便振替にて送金してください。
- 【郵便振替口座】口座番号00220-8-71093 加入者名 乙女高原ファンクラブ



座談会 内藤邦雄さん 『私のセカンド・ライフ』

続いて行われた座談会の話題提供者は、様々な環境活動に取り組んでいる内藤邦雄さん(乙女高原ファンクラブ世話人, 乙女高原案内人)。内藤さんは様々な資料を用意していただき、たくさんのお話をしてくださいました。(まとめ 植原)



- ・環境活動に関わるきっかけは高木善之氏(環境活動家。ネットワーク『地球村』代表)の連続セミナーを聞いたこと。
- ・生まれ育ったのは、甲府の田舎。風呂を借りっこしたり、おかずのおすそ分けが普通という社会だった。
- ・社会がマネー主義になったことで、人間の経済活動が人の心にも動植物にも大きなダメージを与えている。
- ・退職後、「人と人の絆」や「自然観察からはじまる自然保護」を伝えていかなければという使命感が出てきた。
- ・「ローカルな課題として東海地震(防災)」、「グローバルな課題として地球温暖化」が自身にとって喫緊な課題。
- ・3. 11のように、山梨も含まれる東南海でも「点」での地震が連続して「面」で地震が起こる可能性がある。
- ・調べることで見えてくる。調べることが守るにつながる
- ・自然は子孫からの借りもの。なにかを決めるとき、7代先のことを考えて決める。
- ・ロハス(LOHAS=健康で持続可能なライフスタイル)を復権させたい。
- ・Think globally, act locally モットイナイ(ケニアのワンガリ・マータリさんが国連で提唱)
- ・地球の歴史を5mのビニールテープで表現し、ところどころ地球史エピソードのタグをぶら下げ、年表のようにした。
- ・地球46億年の歴史を1年に短縮すると、人類誕生は大みそかの11時37分。
- ・最近、気になる横文字コトバとしてティッピング・ポイント=一度越えてしまうと、後戻りできないポイント(地球温暖化がある程度進むと、海洋大循環が止まってしまうなど)。
- ・環境倫理は世代内倫理(自然からの恩恵を受けるのに南北間格差がある), 世代間倫理(自然からの恩恵を受けるのに世代間格差がある), 生物間倫理(すべての生物に自然からの恩恵を受ける権利がある)。自分の活動の哲学。
- ・河口湖で湖面が全面結氷した写真を見せ、地球温暖化が進行していることを実感してもらっている。
- ・みどりの学校のメンバーとして小学校を訪問し、手回し発電機などの手作りの教材をたくさん準備し、体験してもらっている。ソーラークッカーで太陽光を集めて炊いたご飯を試食してもらうこともある。
- ・ヴァンフォーレの試合があるときも、試合会場で展示や実演を行っている。
- ・放置自転車を市から譲り受け、その発電機を活用して発電機をつくり、実演したり、工作教室を開いたりしている。
- ・小瀬はエコ・スタジアムとして、ヴァンフォーレの試合終了後のゴミを分別し、その重さを測る活動もしてきた。
- ・ソーラークッカー(パラボラアンテア型の集光料理装置)は、15分くらいでガラガラとお湯が沸く。同じ料理をつくっても、コンロよりおいしいと評価される。コンロだと下から熱が伝わるだけだが、ソーラーだと全面から熱が来るからか。
- ・日々の足跡→日記。新聞のその日の最高・最低気温、平年比、ソーラークッカーによって沸かした湯の量、月末にはゴミの量、自家用車の走行距離などもメモしている。
- ・環境家計簿を8年間続けている。買電量、売電量、ガス、水道、灯油、ガソリン、燃えるゴミの量などを月ごとに記録している。毎日の体重を書いておくことによって、それがダイエットにつながる(測るダイエット)のと似ていて、環境家計簿をつけることで、自然に省エネ・省資源につながっていく。
- ・暖房器具はストーブをやめてこたつだけ。部屋間・室内外の温度差がなくなり、家族が風邪をひかなくなった。
- ・家計にも環境にも健康にもよい生活(3K生活)をしている。
- ・今は「乙女高原」と「みどりの学校」と「時習塾」での活動がんばっている。・生涯現役でがんばりたい。

その他、内藤さんの琴線に触れたコトバをたくさん紹介していただきました。それから、三枝さんの司会で、皆さんの感想や意見を聞いていき、有意義な座談会を終了しました。



里地里山モニタリング講習会に参加しました！

3月1日、往復8時間もかけて鎌倉まで行き、『里地里山モニタリング1000』講習会に参加してきました。主催は日本自然保護協会。参加者は三枝さん、鈴木さん、植原の3名。講習内容はアカガエル類の産卵調査。講師の前田さんによると、アカガエル類は1シーズンに1匹のメスが1つの卵塊しか産まないの、卵塊の数を数えれば、それがその地域のカエルの生息数を反映するのだそうです。現地の自然保護活動をされている久保さんの案内で、谷戸の昔ながらの田んぼに産み落とされたカエルの卵をじっくり観察してきました。カエルの卵をカルガモやアオサギが食べると聞き、びっくりしました。

■鎌倉で見たカエルの卵 鈴木としえ

2月14日に降った雪が鎌倉の山にも残っていました。山の中、素晴らしい自然があるじゃんけー（知らなかったなー。子どものころに何度も来ているのに、まったく）。林の木々に囲まれた田んぼ？ 山からしみ出る水が溜まってできた湿地（田んぼ）です。刈り田なんだな…。以前は私有地だったものを、市で買い上げた田んぼだそうです。

卵が生まれたのは1月だと聞きました。生まれた時は2cmくらいの卵塊が、生まれてすぐに水を吸い、10倍から15倍の大きさの卵塊になっていました。親のカエルはまた山の中へもぐってしまう。卵の早いものはもうオタマジャクシになっている、まだ12～13mmくらいのちっちゃくて、黒くて、かわいいオタマジャクシでした。

■3月1日里山モニタリング調査講習会に参加して 三枝かめよ

あいにくの雨に変わるかなと思われる空模様の中、午後から鎌倉中央公園で開催されたカエル類調査研修会に植原先生と鈴木さんとで参加してきました。山梨に生息するのはヤマアカガエル。ニホンアカガエルはいないそうです。調査目的はアカガエルの繁殖は年1回産卵期にメス1匹あたり1つの卵塊しか産卵しないので継続的に調査区域内で卵塊の数の調査をしてその水辺と森林の連続性を評価する。産卵期間、およそ2週間1回調査区域内の卵塊を数える（新しく生まれた卵塊数を数える）。

研修室で事前の講習を受けた後中央公園内の湿地やたんぼのあぜ道歩いて卵塊を手に取り（やわらかくて中には小さなオタマジャクシが動いている塊もありました）指導者と研修会参加の皆さんと卵塊の数を数え、記録用紙に記入していきました。田んぼは昔ながらの湿田で「鎌倉中央公園を育てる会」2008年に法人格を取得して「NPO法人山崎・谷戸の会」のメンバーの人達が守りこの研修会が開催されていました。15人の研修生に5人の指導者です。谷戸の水田の近くにいけない場所は双眼鏡での観察です。50ヘクタールの公園内は炭焼き小屋・畑・造られたばかりのハウスは2月の大雪で上の部分が押しつぶされていたり、大きな池や山の斜面には梅や桜が木の柵の遊歩道の中に見受けられました。

観察会の後は研修室に戻り実際にアカガエルを見ることができました。産卵時期だけオスはメスを抱えるため足の筋肉が発達して太くなっているそうで。カエルがとてもきれいに見えました。研修会終了後茶話会と意見交換会が開かれ17時終了です。

●ご寄付をありがとうございました●

乙女高原ファンクラブは皆様からの貴重なご寄付によって運営されています。

高島健次様、米山義康様、菊地猛三様・塩子様、伏見 勝様、内藤邦雄様・千歳様、伊藤 昇様、永原章二様
古田敏夫様・千代子様、安富芳森様、辻万里奈様、左川伸治様、桐原武仁様、堀家誠一様、若林マサノ様
渡辺慶孝様、計良和子様、坂本 浩様、和田安雄様、天野侑子様、谷村伸一様、茅沼昭八様、青木隆明様
林ゆり子様、金子丈夫様、高橋美代子様、天野秀光様・啓子様、田草川敏男様・恒子様、筒井美代子様
山梨市観光協会牧丘支部様、沢登 智様、伊東祥子様、武川敏行様、市川英雄様、石川重人様、高槻成紀様
井上僖久和様、菅原美知子様、依田長泰様・敏美様、飯嶋美紀様、鈴木 勲様、吉柳俊孝様、米村雅範様
若月 昇様、清水甲子雄様、名執真理子様・義高様、河添寿子様、伊東紀薫様、綾田浩子様、西室幸男様
町田順一様・香世子様・はるか様・拓也様、詫間 仁様、雨宮 久様、川畑悦子様、沢辺元明様、平戸 元様
佐藤 満様、星野義延様・順子様、水口利美様、生山鈴子様、浅井聡司様、齋藤正敏様、京ヶ島弥生様
畑 俊一様、畑 俊一様、雨宮 寛様、榎田麗子様・幹夫様、砂場里香様、細井 毅様、奥野栄造様、舛田祐子様
藤田 進様、加藤信子様、成城学園生物部年輪会様、石嶋基次様、米村雅範様、小林 憲様、井上敬子様
山梨技建様、小林美珠様、北島一良様、半場良一様・みゆき様、小澤 誠様、原 澄様、依田 昇様・三枝子様
足立高行様、植原 彰様、千葉県立中央博物館友の会自然観察グループ様、長池卓男様、坂田英明様
榎田麗子様・幹夫様、橋爪強策様、工藤一弘様、岡 武人様、宇田川文明様、三枝かめよ様、菊地猛三様
内藤邦雄様、三枝健一様、宮崎継雄様 (2013年4月1日～2014年3月30日 受付順)

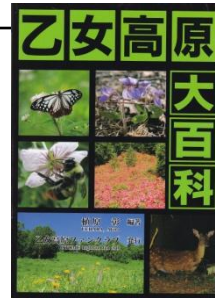
乙女高原ファンクラブの事務局だよ

●同封した郵便振替用紙は寄付金の送付、刊行物の代金送付等にご活用ください。

乙女高原ファンクラブの刊行物

乙女高原とファンクラブ11年間の集大成『乙女高原大百科』

(A5判 602頁) 草刈り開始後から配信している乙女高原メールマガジン11年間 268号の中身を編集したら厚さ3cmの本になってしまいました。一部カラー。希望者には実費でお分けします。1冊2,000円、送料は1・2冊なら360円。欲しい方は郵便振込で1冊なら2,360円送金してください。



乙女高原インタープリテーションのテキスト『乙女高原案内人 誕生と成長の記録』

(A4判 186頁) 乙女高原案内人養成講座の中身と、その後の案内人の活動の様子を一冊の本にしました。希望者には実費でお分けします。1冊1,000円、送料は一冊につき82円。欲しい方は郵便振込で1冊につき1,082円を送金してください。

乙女高原フィールドガイド シリーズ

欲しい方は事務局までご連絡ください。



フィールドガイドⅢ スマレの観察のおともに 『乙女高原のスマレ・ウォッチング』

(A3判両面カラー) 乙女高原では、なんと18種類ものスマレを観察できます。このフィールドガイドでは乙女で見られるスマレたちのプロフィールを紹介するとともに、スマレ観察のポイントをていねいに解説しました。

フィールドガイドⅡ マルハナバチの観察と調査のおともに 『マルハナバチ ウォッチング』

(A3判両面カラー) マルハナバチの生態、ファンクラブで行っている調査、乙女高原で見られる6種(+2種)のマルハナバチの見分け方をコンパクトにまとめました。

フィールドガイドⅠ 春から夏にかけて咲く草花のガイド 『乙女高原のお花たち』

(A3判両面カラー) フィールドガイド第1号。春から秋に咲く47種類の草花を写真つきでコンパクトに紹介。草丈表示と草花の一言コメントが「分かりやすい」と評判です。2013年6月第3版発行。

■乙女高原ファンクラブの普通会員になりませんか？

『数は力』という側面もあります。ファンクラブの会員が多くなれば、それだけ乙女高原の保全に対するファンクラブの発言力が増します。まわりの方をファンクラブに『巻き込む』ことも乙女高原を守る活動の一つです。まわりの方にファンクラブをお勧めください。

乙女高原ファンクラブに入会するには・・・

- ・「入会します 氏名・郵便番号・住所・電話番号」というファックス、メール、手紙等を事務局までお届けいただければ、いつでも、だれでも会員になれます。
- ・入会金も年会費もありません。乙女高原を守る力が1人分、大きくなります。
- ・普通会員には年4回、サポーター会員には年1回、ニュースレターが届きます。
- ・普通会員には総会出席の義務がありますが(委任状可)、サポーター会員にはありません。

本号はサポーター会員にもお送りしています

■乙女高原ファンクラブへの連絡先■

【事務局】 植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3

TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@fruits.jp

※会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。

WEB <http://fruits.jp/~otomefc/>

●郵便振込● (番号) 00220-8-71093 (加入者名) 乙女高原ファンクラブ